

低炭素社会の実現に向けて ～廃棄物処理施設の変革～

廃棄物処理を行う目的は、基本的には生活環境の保全と公衆衛生の向上であり、廃棄物処理施設が必要不可欠です。しかし世界の廃棄物処理施設の実態は多くが公害発生源と見られ、立地に反対され改善が求められています。しかもレベルの高い先進国の最終処分場でも浸出水の処理維持管理がいつまでも要求され、事業者にとっては大きな負担になっています。

一方、最近の焼却工場は発電施設として売電収益を上げ、埋立処分場は廃止後跡地が住宅や太陽光発電施設などに生まれ変わって周辺の住民に喜ばれています。処理施設が立地反対されるNIMBY(迷惑施設)からPIMBY(喜ばれる施設)へ変革しています。そこで今回は、「廃棄物処理施設の変革」を学ぶために本シンポジウムを企画しました。

2018年 **6月29日(金)** **13:30～16:30** (受付開始:12:00)
場所 川崎市産業振興会館 1階 ホール
(JR川崎駅西口から徒歩8分/京浜急行川崎駅から徒歩7分)

定員 300名(申込締切:6月26日(火)※定員になり次第受付終了)

参加費 日本ガス協会正会員: 3,000円 協力団体会員及び日本ガス協会賛助会員: 5,000円 非会員: 10,000円
自治体職員: 4,000円 学生: 2,000円

主催:(株)廃棄物工学研究所 特別協力:公立鳥取環境大学 後援:環境省(申請中) 協賛:(一社)日本ガス協会

協力団体:(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)環境衛生施設維持管理業協会、(公社)全国産業資源循環連合会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)日本産業機械工業会、(一社)日本廃棄物コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、(一社)廃棄物資源循環学会、有害・医療廃棄物研究会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、産業廃棄物処理業経営塾、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム

プログラム

- | | |
|---|--|
| 13:30 開会の挨拶・シンポジウム企画趣旨
公立鳥取環境大学 客員教授 田中 勝 | 15:00 特別講演:埋立処分の変革～廃止後の跡地利用を優先した最終処分場へ～
福岡大学 工学部 資源循環・環境グループ教授 樋口 壮太郎 氏 |
| 14:00 基調講演:第4次循環基本計画など国の重点施策について
環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長補佐 大沼 康宏 氏 | 15:30 技術解説:廃棄物からのエネルギー回収施設の整備状況
(一社)日本環境衛生施設工業会 技術委員会 委員長 保延 和義 氏 |
| 14:30 地方行政解説:生まれ変わる清掃工場～杉並清掃工場の経験～
東京二十三区清掃一部事務組合 建設部推進担当課長 横田 幸利 氏 | 15:50 質疑応答・パネルディスカッション
廃棄物処理施設の変革
コーディネーター: 田中 勝 パネリスト: 上記講演者 |
| 14:50 休憩 | 16:30 閉会 |

※やむを得ずプログラム・講演者が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お申込み方法

参加には事前のお申込みが必要です。裏面の参加申込用紙に必要事項を記入の上、FAXまたはWEBにてお申込みください。後日、参加申込受付完了メールにて「**受付番号**」をお送りいたします。

●faxでの申込み: **FAX 086-239-5303**

●webでの申込みは、右記アドレスからお願いします。 <http://www.riswme.co.jp>

お振込先

●りそな銀行 芝支店(普)1490768 カ)ハイキブツコウガクケンキュウシヨ

参加費は事前振込でお願い致します。また、お振込いただく際、振込人名義は「**受付番号+参加代表者氏名**」としてください。振込手数料は参加者各自でご負担願います。